

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 福

上場会社名 RKB毎日放送株式会社

コード番号 9407 URL <http://rkb.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 良次

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 松浦 泰久

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	11,913	4.2	623	2.1	697	4.0	465	13.3
26年3月期第2四半期	11,434	△2.4	610	△11.1	670	△6.9	410	△3.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 642百万円 (68.2%) 26年3月期第2四半期 382百万円 (298.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	42.40	—
26年3月期第2四半期	37.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	40,060	27,657	67.6
26年3月期	40,592	27,802	67.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 27,095百万円 26年3月期 27,180百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	15.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,190	△0.2	1,640	△7.0	1,720	△9.3	1,060	△3.8	96.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	11,200,000 株	26年3月期	11,200,000 株
27年3月期2Q	233,298 株	26年3月期	232,558 株
27年3月期2Q	10,967,347 株	26年3月期2Q	10,968,724 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成27年3月期の個別業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,180	△0.3	1,480	△7.3	1,590	△7.5	1,010	△3.3	92.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 参考情報	10
(1) 当四半期の個別業績	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の増加や雇用環境の改善など景気回復基調で推移しておりますが、消費税増税の駆け込み需要の反動などにより、個人消費に弱さが見られ、先行き不透明な状況です。

そのような状況の中、放送事業、システム関連事業、その他事業収入が前年を上回りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は119億13百万円(前年同期比 4.2%増)で増収となり、営業利益は6億23百万円(前年同期比 2.1%増)、経常利益は6億97百万円(前年同期比 4.0%増)、四半期純利益は4億65百万円(前年同期比 13.3%増)でいずれも増益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### ①放送事業

放送事業は、収入81億52百万円(前年同期比 2.5%増)、営業利益3億96百万円(前年同期比 7.9%増)となりました。

テレビ部門は、収入70億16百万円(前年同期比 0.4%増)となりました。タイム収入は3.7%増となりましたが、スポット収入は、消費税増税の駆け込み需要の反動の影響もあり、1.7%減となりました。業種別では、通信・放送、薬品、精密・事務機器などが伸びたものの、住宅・建材、流通・小売、アルコール飲料、輸送機器などが落ち込みました。

ラジオ部門は、収入11億36百万円(前年同期比 18.1%増)となりました。スポット収入は25.8%増、タイム収入も新規イベントの実施等により14.6%増となりました。

#### ②システム関連事業

システム関連事業は、収入19億2百万円(前年同期比 3.9%増)、営業損失1億62百万円(前年同期は営業損失1億9百万円)となりました。

ソフトウェア開発業界では業界内の競争が一層の厳しさを増す中、積極的な営業活動を展開した結果、民間向けソフトウェア開発の受注が増加し、増収となりました。利益面では、開発コストの増加により損益の改善には至りませんでした。

#### ③不動産事業

不動産事業は、収入5億13百万円(前年同期比 1.6%減)、営業利益3億47百万円(前年同期比 1.9%減)となりました。

テナント収入の減少により、減収減益となりました。

#### ④その他事業

その他事業は、収入13億44百万円(前年同期比 19.2%増)、営業利益41百万円(前年同期比 19.2倍)となりました。

催事部門では、北九州芸術劇場での蜷川幸雄演出「海辺のカフカ」や約32万人の入場者を集めたJR九州ホールでの「アートアクアリウム展～博多・金魚の祭～」などを開催し、増収となりました。また、利益も大幅な増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億32百万円減少し、400億60百万円となりました。これは主に、現金及び預金が5億47百万円、投資有価証券が2億78百万円増加したものの、回収等により受取手形及び売掛金が14億10百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ3億86百万円減少し、124億3百万円となりました。これは主に、未払費用が3億87百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億45百万円減少し、276億57百万円となりました。これは主に、退職給付に関する会計基準の変更等により、利益剰余金が2億89百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結および個別の業績予想につきましては、平成26年8月8日に公表いたしました予想数値から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が9億58百万円増加し、利益剰余金が5億89百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,920	5,467
受取手形及び売掛金	4,179	2,768
有価証券	130	110
たな卸資産	78	334
その他	2,913	3,069
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	12,219	11,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,446	7,399
機械装置及び運搬具（純額）	1,010	883
土地	13,319	13,319
その他（純額）	873	884
有形固定資産合計	22,650	22,487
無形固定資産		
投資その他の資産	432	324
投資有価証券	4,059	4,337
その他	1,236	1,168
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	5,290	5,500
固定資産合計	28,372	28,312
資産合計	40,592	40,060
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	402	264
短期借入金	561	440
未払法人税等	450	309
アナログ設備撤去引当金	10	10
その他	3,437	2,930
流動負債合計	4,862	3,955
固定負債		
長期借入金	480	360
退職給付に係る負債	5,434	6,257
負ののれん	7	—
その他	2,006	1,830
固定負債合計	7,927	8,447
負債合計	12,789	12,403

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	26,472	26,183
自己株式	△177	△178
株主資本合計	26,859	26,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	539	704
退職給付に係る調整累計額	△218	△178
その他の包括利益累計額合計	320	526
少数株主持分	622	561
純資産合計	27,802	27,657
負債純資産合計	40,592	40,060

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	11,434	11,913
売上原価	7,057	7,448
売上総利益	4,376	4,465
販売費及び一般管理費	3,766	3,842
営業利益	610	623
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	48	52
その他	32	28
営業外収益合計	82	83
営業外費用		
支払利息	16	8
その他	5	0
営業外費用合計	21	9
経常利益	670	697
特別利益		
アナログ設備撤去引当金戻入益	1	-
その他	0	-
特別利益合計	1	-
特別損失		
固定資産除売却損	0	3
その他	3	0
特別損失合計	3	3
税金等調整前四半期純利益	668	693
法人税等	273	256
少数株主損益調整前四半期純利益	394	437
少数株主損失(△)	△15	△27
四半期純利益	410	465

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	394	437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	165
退職給付に係る調整額	—	40
その他の包括利益合計	△12	205
四半期包括利益	382	642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	397	670
少数株主に係る四半期包括利益	△15	△27

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,953	1,830	522	1,128	11,434	—	11,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	86	36	146	314	584	△584	—
計	8,039	1,867	668	1,442	12,018	△584	11,434
セグメント利益又は損失(△)	367	△109	354	2	614	△4	610

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	614
セグメント間取引消去	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	610

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,152	1,902	513	1,344	11,913	—	11,913
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84	26	141	306	558	△558	—
計	8,237	1,928	654	1,650	12,471	△558	11,913
セグメント利益又は損失(△)	396	△162	347	41	623	△0	623

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	623
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	623

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

## 4. 参考情報

(1) 平成27年3月期第2四半期の個別業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(百万円未満切捨て)

## 【個別経営成績(累計)】

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,632	4.3	737	6.2	826	7.6	529	14.9
26年3月期第2四半期	9,239	△1.0	694	△9.0	768	△2.8	460	1.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	48 27	—
26年3月期第2四半期	42 00	—

## 【個別財政状態】

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	34,023	25,320	74.4
26年3月期	34,081	25,311	74.3

## 【個別売上明細】

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	7,057	76.4	7,081	73.5	24	0.3
ラジオ収入	982	10.6	1,155	12.0	173	17.7
不動産事業収入	486	5.3	482	5.0	△3	△0.8
その他事業収入	713	7.7	912	9.5	199	27.9
合計	9,239	100.0	9,632	100.0	393	4.3

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。